

第1問

- (1) どこであれ外国を初めて旅行する人は、どこ生まれであっても、また旅のためにどれほど十分に準備をしていたとしても、当初の期待と現実との違いに驚くのが常である。
- (2) 自分の国では当たり前と思われていることが、違った文化ではあべこべになり、それまでは簡単と思われていたこと、例えば、葉書を出したり、食事を注文したり、タクシーを止めたり、通りを渡ったりすることが、突然、厄介なことになる。
- (3) 人の名前や顔を覚えることができると自慢していた若者が、今では、同じ種の人が「皆、同じように見える」とこぼす。
- (4) カルチャーショックを避けるために、あるいは少なくともそれを最小限に留めるためには、旅に出る前に、訪れようとしている国についてできるだけ多くのことを知っておく必要がある。その国の言語を学ぶことは、確かに役に立つが、それだけでは不十分だろう。

2015 徳島大学 英語

第2問

問1 Handwriting does not matter very much.

問2 大切なのは何を書くかにとどまらず、どういう手段で書くか、でもあるのだ。

問3 a letter or a shape on an index card

問4 汚い文字

問5 子供が文章を組み立てる場合も、手で直に書く方が、キーボードで打つのに比べ、より多くの言葉をより速く生み出せるだけでなく、より多くの考えを表現することができるということ。(84字)

高松高等予備校

第3問

(1) People overseas seem to have the impression that Japanese are an industrious, serious people and don't tell jokes very much.

(2) There were a lot of people who parked their bicycles in front of a shop near a railroad station. The shop owner placed a sign saying, "Please don't park bicycles in front of this shop." However, to no avail.

(3) One day, the shop owner, who had had a hard time of it for a long time, changed what the sign said and as a result no one came to park their bicycles there. The sign said, "The bicycles parked here are all abandoned articles, so please feel free to help yourself to one of them."